

令和2年度宇治市公共下水道事業懇話会（第3回） 会議録（概要版）

日時	令和3年1月18日（月） 10時～11時10分
場所	市役所8階大会議室
出席委員	山田（淳）会長、山田（秀）委員、吉田委員、居原田委員、池本委員
事務局	秋元上下水道部長、山田上下水道部副部長（兼）水道総務課長、横山上下水道部技術参事（兼）下水道建設課長、蒲原下水道計画課長、横山下水道管理課長、公文水管理センター場長、辻村下水道計画課副課長（兼）庶務係長、船川下水道建設課副課長（兼）事業第2係長、重谷下水道計画課計画係長、乾下水道計画課主任、阿部下水道計画課技師
会議内容	・ 議題 経営戦略（初案）について
傍聴者	2名

〈会議経過及び内容〉

1. 開会
2. 上下水道部長あいさつ
3. 議事
4. 閉会

経営戦略（初案）について

【主な意見等】

- 誤解を招く表現や曖昧な表現は避けるべき。

例) : 6 ページ

- ・ 市内の中小河川の数を明記すべき。
- ・ BOD の数値表記は小数点以下 1 桁までである。

10 ページ、11 ページ

- ・ 府内他団体と類似団体の団体数と平均値であることを明記した方がよい
⇒表現について検討します。

- 10 ページの表中、管渠老朽化率について、令和元年度に急に上昇しているのはなぜか。また、管渠改善率について平成 28 年度が低いのはなぜか。

⇒管渠老朽化率が上昇したのは、耐用年数が到来したため。管渠改善率が低下したのは、耐用年数を超過した管渠についての工事が少なかったため。

- 府内他団体及び類似団体の数はわかるか。また、標準化（偏差値）に宇治市は含まれているか。

⇒府内他団体は 14 団体、類似団体は 18 団体となっている。標準化（偏差値）に宇治市は含まれていない。

- 府内他団体及び類似団体の選択において、汚水処理場の有無は考慮しているか。
⇒汚水処理場の有無は考慮していない。

- 10 ページの表中、施設利用率が上下しているのはなぜか。
⇒既存施設が高度処理化工事で休止していたことによる。

- 16 ページにおいて「使用料収入のピークは令和 6 年度を見込んでいる」となっているが、既に人口が減少しているのに令和 6 年度まで使用料収入が増加するのはなぜか。
⇒整備による接続戸数がまだ増加しており、令和 6 年度までは全体の使用汚水量が増えたと見込んでいる。

- 22 ページ表中にある雨水処理負担金とは不明水のためのお金か。
⇒雨水事業にかかる一般会計からの負担金である。

- 一般会計繰入金の基準外である出資金は、出資金として残っていくのか。それとも場合によっては返すことになるのか。
⇒将来的に返すという選択もあるが、次の投資のための財源とする考え方もある。今後、一般会計と調整が必要と考えている。

- 本経営戦略において使用料の改定は含まないということか。
⇒方針について明記はしていないが、24 ページ、25 ページに記載しているとおり、令和 12 年度までの収益的収支において当年度純利益は 0 円で推移する見込みであるため、今のところ想定はしていない。

- 30 ページの人口接続率の目標が令和 12 年度に 95%となっているが、100%は不可能なのか。可能性があるなら目標を 100%とすべき。
⇒まだ整備が終わっていないので 100%は難しいと考えている。整備が完了したとしても、空き家等があるために 100%は難しいが、近い数字は目指していきたい。

- 7 ページでこれまでの整備箇所を示しているが、今後 10 年での計画は明記できないのか。
⇒別で策定する整備に関する計画において可能な限り示したい。